

各位

2013年3月10日
壱分町東自治会

ゴミ半減トライアル壱分町東第二回懇談会について以下の通りご報告いたします。

1. 日時 : 2013年3月10日(日) 午前10時～12時
2. 場所 : 壱分町東自治会館
3. 出席者数 : 計19名
他イベントと重複したため今回は市よりの出席はなく当自治会会員のみ。

4. 懇談内容

- 1) 壱分町東におけるトライアル推進経緯を資料に基づき説明
- 2) トライアル期間におけるごみの量の推移を資料に基づき説明
 - (1) モデル地区ごとの推移(2013年1月末現在)
 - (2) 壱分町東のある家庭(4人家族)でのごみの排出量を資料に基づき説明
 - ① 期間 : 2012年11月3日から2013年2月16日で収集日単位に計量
 - ② 内容 : もえるごみ、生ごみ、プラ別の集計
- 3) キーエロによる生ごみ処理のトライアル状況の報告
 - (1) 生駒市環境事業課での分解トライアル状況を写真にて説明
 - (2) 壱分町東におけるトライアル状況を実施している各家庭より説明
- 4) アンケート実施(以下コンセプトで実施)
 - (1) アンケートの目的を明示し回答に負荷をかけない(1ページ)
 - (2) 6ヶ月のトライアル実施を踏まえての具体的なイメージのQとする
 - (3) 生ごみの処理と資源化への分別に的を絞ったQとする

5. 総評

- 1) 出席者全員が前向きな考えで様々な情報交換ができ後半6ヶ月のトライアルに向けさらなる意識付けになり有意義な懇談会となった。
- 2) 出席者の中には各家庭での工夫や悩み等を具体的に聞くことができ分別への意識向上に繋がったと言える
- 3) 特にキーエロの状況については現在コンポスト等で堆肥処理をしている方若しくは水きり以外されていない方々の背景に関係なく興味を持たれた模様であった。
- 4) キーエロはベランダdeキーエロよりキーエロの方が分解処理の効果があるように見受けられる結論としては各家庭での環境を考慮しコンポストとかの組み合わせが効果的といえるのではないかと
- 5) ごみの減量は継続していくことが重要であることから日常の生活の流れでの仕組みの工夫を实践していくのかがポイントではないかと
例えば発生主義で分別できるようにするとか無理をせず足元のできることから実践していく。
- 6) 市より提供されたミックスペーパーは好評で分別に大いに役に立ったといえる。
- 7) 12月度トライアル集積所の一つであるネオハイツでは12月度40%の削減がされたが主な要因として資源化分別の意識付けと牛乳パック等スーパーへの持込増加が考えられる
- 8) 今回は環境に優しい具たくさんの豚汁とごはんを囲みながら懇談であったためよりアットホーム的に情報交換が出来たといえる

6. トライアル家庭からのキーエロの状況説明

- 1) 野菜系は分解されるのが早い。野菜の芯、玉ねぎ皮(茶色)、魚の骨、卵の殻等は分解されない。ただベランダdeキーエロの方は野菜等といえども分解はされていない模様。
- 2) 3箇所程度の穴が適当であり容量からみても効果的と思われる
・ベランダdeキーエロは3箇所でも窮屈の模様
- 3) より細かくする前処理が重要であり包丁で切り刻んでいるがかなりの重労働である。
電気分解の方法もあるがコスト面の問題がある。
- 4) 効果的に分解させるには埋めっぱなしではなく途中掘り返す必要がある。
- 5) 水分により土がベチャベチャになり適度に土の交換をしている。
・ベランダdeキーエロの方がベチャベチャ度は高いと思われる(恐らく構造上の原因と思われる)
- 6) ベランダdeキーエロの家庭は冬場でもあることから現在は使用せず隣接の畑に生め堆肥処理をしている。
- 7) 現時点ではキーエロの方が分解処理には総体的にみて優位性が高いとの評価となる。
- 8) 今後の夏場のトライアルでの分解程度、臭い、虫等がどうなるのかがポイントと考える

7. 出席者からの主な意見

1) 意識付け

- (1) 例えばオレンジをジャムにしたりダイコンの皮等今までは生ごみとしてだしていたものを工夫をして調理をするようになり贅沢をしないようになった。
- (2) ミックスペーパーシールを家族にも話し分別するようになった
- (3) 仕事にかこつけて今までは熱心に分別をしていなかったが色々な情報をいただきそれではいけないという気持ちになった
- (4) ごみの量をグラフ化等での説明を受け減量に取り組んでいる状況が見えて良かった
- (5) 分別はまーいーやーと思うとしなくなる。分別していくという意識が重要
- (6) 収集日以外の日に排出したり収集後に排出しているのを見かける。
良識の問題であるがこの辺も徹底していく必要がある
- (7) 処理場の見学ツアーの企画をお願いしたい
 - ① 集積所から回収されたものがリサイクル工場等でどのように処理されているのか見学したい。
 - ② このことが意識向上にもつながるのではないか。
 - ③ 市の公募ではなく壱分町東としての見学がより効果があると考え
→市環境事業課に相談し見学できるよう企画し案内をだすこととした

2) 資源化分別

- (1) 分別には手間がかかるものであり手間をいとわないで分別することが重要
- (2) 分別の仕方につき具体的には話が聞けたので今後実践していきたい
- (3) 発生した時に処理できるよう分別しやすい器を事前に用意しておくことがポイント
- (4) 冷蔵庫等目に見える箇所に分別チェックシートを貼っておく。家族にも分別を促す効果がある
- (5) 分別は意識しているがプラの種別が多いのでお手上げの状況である
例えば食料品でプラと思っていると紙と貼付してあったりしている。

3) 生ごみ

- (1) 水切りをしたあとしばらくおいて置くと軽くなる
- (2) 水切りをしっかりとるようになった
- (3) キーエロの話をもっと直接聞いたことは良かった
- (4) コンポストを利用し堆肥処理をしているが上へ上と積んでいくために1台では処理が仕切れず3台の第数が必要となる。コンポストは重たいため取り出すのに苦労をしている。
キーエロとさらに比較をしたい。
- (5) 電気分解で処理をしているがカビが発生する問題が生じている。
- (6) キーエロを是非トライアルで使ってみたい

4) その他

- (1) ごみの量は減量されているのは事実であるが最後の詰めをどうするのが課題ではないか。
- (2) 生活の中で市よりサービスを受けている中で無償なのはごみの収集くらいではないか。
他自治体特に南地区はほとんど有料化になっているはずである。
このまま単純に無料化が良いのかとは簡単に言えないのではないか。

8. アンケートの実施

前向きな考え方が多かったこともあり回答もその傾向が顕著に現れた結果となっている。

Q.1 生ごみの処理についてお伺いいたします。(複数回答OKです)

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 水切りをトライアル以前より意識的にするようになった | 66.70% |
| 2. 庭若しくは畑等で堆肥・分解をしている | 46.70% |
| 3. 特にしていない | 6.70% |
| 4. キーロのトライアルをしてみたい | 13.30% |

Q.2 プラスチック製容器包装の分別についてお伺いいたします

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. 洗いをしてほとんど分別している | 73.30% |
| 2. 洗いをしなくてすむものは分別している | 26.70% |
| 3. 特に分別をせず焼えるごみと一緒に排出している | 0 |

Q.4 ミックスペーパーの分別についてお伺いいたします

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. ほとんど分別をしている | 46.70% |
| 2. 手間がかからないものは分別している | 40.00% |
| 3. 特に分別をせず焼えるごみと一緒に排出している | 13.30% |
- (理由)分別するスペースがない・時間がない

Q.6 新聞・雑誌・ダンボールの分別についてお伺いいたします。

- | | | | |
|-------------------------|----------|----------|---------|
| 1. ほとんど資源回収として排出している | | | |
| 2. 時々分別をしている | | | |
| 3. 分別をせず焼えるごみと一緒に排出している | | | |
| 【新聞】 | 1. 86.7% | 2. 13.3% | 3. 0% |
| 【雑誌】 | 1. 80.0% | 2. 6.7% | 3. 6.7% |
- (理由)面倒だから
- | | | | |
|---------|----------|--------|----|
| 【ダンボール】 | 1. 80.0% | 2. 20% | 3. |
|---------|----------|--------|----|

備考: Q3, 5, 7は回答で「していない」と答えた方の理由を伺っている。